

# 高等部 国語科 2段階 B書くこと

単元名:「慣用句と故事成語」

Kさんの本時の個別の指導目標（国語科 2段階）

- ① 生活の中で使われる故事成語の意味を知り、使うことができる。（知識及び技能）
- ② 目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較し、伝えたいことを、明確にすることができる。（思考力・判断力・表現力等）

資質・能力を育むための指導のアイデア

【指導と評価の一体化】

## 教材

- ・ペアで物語を作り出したり、言葉を使った動画作りをしたりする。

## 指導

- ・何についてグループで話し合うのかを具体的に教師が提示したり、話し合った結果を発表するなど明確にしたりする。



## 言葉

- ・意味について調べる前に理解度を確認したり、言葉を生活の中で見られる身近なものに精選したりする。

## 単元構成

- ・漢文の単元と組み合わせて、時数を増やしてみる。
- ・社会に出た時に聞く可能性のある慣用句などを取り上げ、職業などの時間も活用しながら般化を行う。

<単元研究会のあと…>

単元研究会後は、本単元の終末にさしかかっており、言葉について調べたり考えたりする活動ではなく、「慣用句・故事成語ハンドブック」の作成を行いました。綴じる方法を考える際に、生徒達から知名度順にしたいと意見が出たため、単元研究会でも出ていた言葉の理解度について改めて確認を行い、取り上げる言葉の精選の大切さを改めて知ることができました。

